地域防災育成講座のご案内

南海トラフ巨大地震など大規模災害に備え、自助・共助の重要性や各町内で実施している防災訓練のあり方などを再認識するため、減災と地域防災力の向上に関する講演会やワークショップなどを開催しますので、ぜひお出かけください。

開催日時			会場	講　師	内　容	目　的
第1回	5月25日(日)	午後1時30分～	中央公民館大ホール	髙木朗義教授※（岐阜大学 工学部）	・講演会 ・ワークショップ（洪水時の適切な行動を考えてみよう）	【講演会】自助・共助の重要性や各世帯、町内が取り組むべき対策などの講演 【ワークショップ】地図を使用して、水害・地震などに対応した避難方法の確認などを学習
第2回	6月29日(日)				・ワークショップ（自主防災訓練のあり方）	他自治体の防災訓練の事例や、個人が重点的に取り組むべき課題を学習
第3回	9月21日(日)			野田日出夫氏（防災ボランティア岐阜 代表）	家具固定器具などの講習会	減災対策で最も効果的な家具の転倒防止の実技講習

※講師の髙木朗義教授は、日本テレビ系「世界一受けたい授業」に出演し、「『あっアレがない!』を科学で即解決!いざという時のマル秘テクニック!」という授業をしました。

【問 合 先】総務課

各種予防接種の接種間隔が変更になりました

予防接種は標準期間で接種することが望ましいのですが、発熱や急性疾患などのやむを得ない事情により、標準的な期間で接種できなかった場合の接種間隔が、4月から変更されました。

接種間隔の変更があった予防接種

ヒブ予防接種

接種開始が2か月以上から7か月未満の乳児

【初回接種】標準的には27日（医師が認める時は20日）以上、56日までの間隔をおいて3回
※2回目と3回目は1歳未満までに終了。1歳を超えた場合は行わない。（追加接種は可能）

【追加接種】標準的には初回接種終了後7か月以上、13か月までの間隔をおいて1回。
※初回接種2回目または3回目が1歳未満までに終了せず、1歳以降に追加接種を行う場合は、初回の1回目または2回目の終了後27日（医師が認めた場合は20日）以上あけて行う。

接種開始が7か月以上から12か月未満の乳児

【初回接種】標準的には、27日（医師が認める時は20日）以上、56日までの間隔をおいて2回
※2回目は1歳未満までに終了。1歳を超えた場合は行わない（追加接種は可能）

【追加接種】標準的には、初回接種終了後7か月から13か月までの間隔をおいて1回。
※初回接種2回目が1歳未満までに終了せず、1歳以降に追加接種を行う場合は、初回の1回目の終了後27日（医師が認めた場合は20日）以上あけて行う。

小児用肺炎球菌予防接種

接種開始が2か月以上から7か月未満の乳児

【初回接種】標準的には生後12か月までに27日以上の間隔をおいて3回
※2回目と3回目は2歳未満までに終了。2歳を超えた場合は行わない。（追加接種は可能）
また、2回目が1歳を超えた場合、3回目は行わない（追加接種は可能）

【追加接種】標準的には生後12か月から15か月の間に、初回接種終了後60日以上の間隔をおいて、生後12か月に至った日以降に1回

接種開始が7か月以上から12か月未満の乳児

【初回接種】標準的には生後12か月までに27日以上の間隔をおいて2回
※2回目は2歳未満までに終了。2歳を超えた場合は行わない。（追加接種は可能）

【追加接種】初回接種終了後60日以上の間隔をおいて、生後12か月に至った日以降に1回

子宮頸がん予防接種

【サーバリックス（2価）】標準的には、1か月の間隔をおいて2回行った後、初回1回目の接種から6か月の間隔をおいて1回行う。
※1か月以上の間隔をおいて2回接種した後は、1回目から5か月以上、2回目から2か月半以上の間隔をおいて1回

日本脳炎予防接種

【1期初回】標準的には、6日以上、28日までの間隔をおいて2回
【追加接種】初回接種終了後6か月以上、標準的にはおおむね1年の間隔をおいて1回

【問 合 先】福祉健康課